

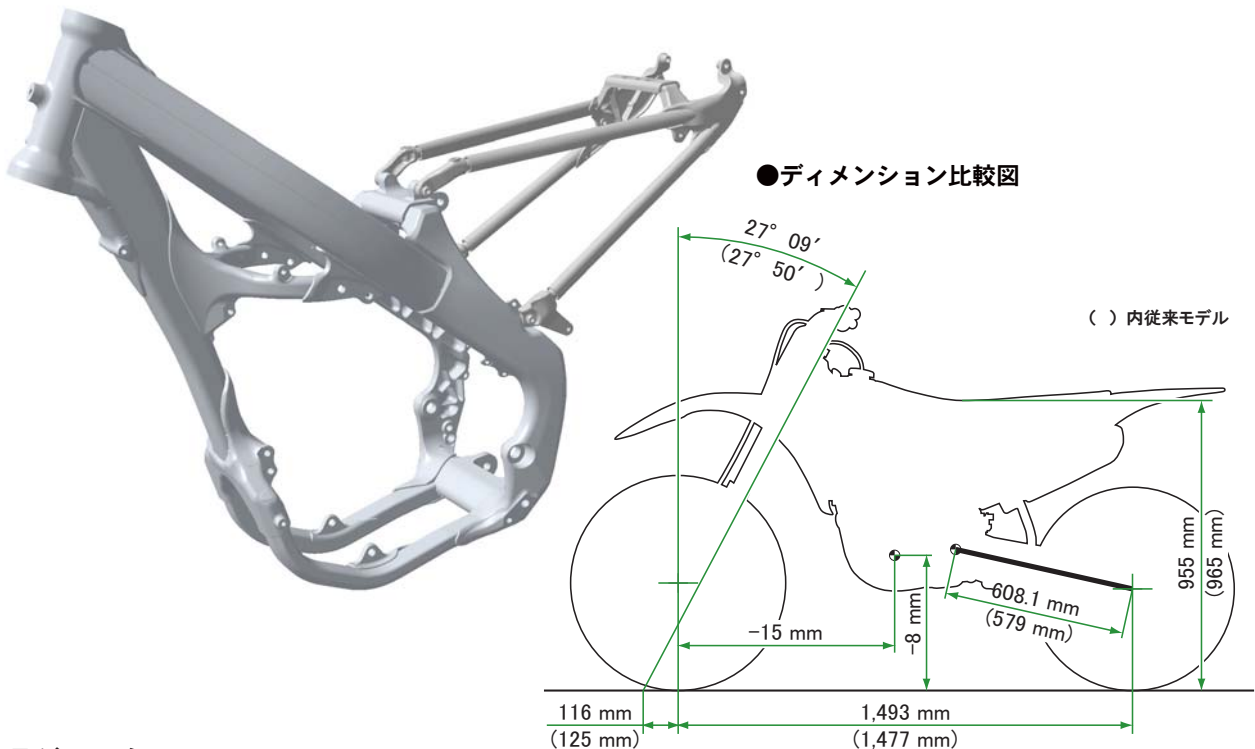
フレーム

フレームボディーは、新設計とし、横・ねじれ剛性の最適化と、ねじれ発生の中心位置を下げる
ことにより、フロント接地点における変位量を低減し、フロントの接地感の向上を図っています。

また、エンジン搭載位置の下方オフセットとフロントアクスル位置の後方オフセットを行い、路
面への接地感を向上させることにより、安定性と旋回性を高次元でバランスさせる車体ディメンシ
ョンが可能となりました。

また、リアフレームは、マフラーをより車体前方から配置できる形状に変更しました。

●フレームレイアウト



ラジエーター

冷却系 (ラジエーター) は、エンジンの出力向上に伴い放熱性能を 14.6kw から 14.7kw へと向
上させました

●ラジエーターレイアウト

